令和８年 業種別労働災害発生状況

令和８年10月末現在

小樽労働基準監督署　倶知安支署

区分 / 業種別		令和８年(10月末) 死亡	令和８年(10月末) 休業４日以上	令和８年(10月末) 計	令和７年(10月末) 死亡	令和７年(10月末) 休業４日以上	令和７年(10月末) 計	令和７年(確定) 死亡	令和７年(確定) 休業４日以上	令和７年(確定) 計	対前年 増減数	対前年 増減率	業種割合
全産業合計		2	91	93	1	112	113	2	134	136	-20	-17.7	100.0
除く鉱業計		2	91	93	1	112	113	2	134	136	-20	-17.7	100.0
製造業			10	10		11	11		15	15	-1	-9.1	10.8
内訳	食料品		7	7		11	11		12	12	-4	-36.4	7.5
内訳	木材木製品										±0		
内訳	家具・装備										±0		
内訳	紙・パルプ										±0		
内訳	窯業・土石		2	2							2		2.2
内訳	機械・金属								1	1	±0		
内訳	その他		1	1					2	2	1		1.1
鉱業											±0		
土石採取業						1	1		1	1	-1	-100.0	
建設業		2	17	19	1	18	19	2	21	23	±0		20.4
内訳	土木工事業	1	10	11	1	5	6	2	7	9	5	83.3	11.8
内訳	建築工事業	1	3	4		5	5		5	5	-1	-20.0	4.3
内訳	木造建築業		3	3		5	5		6	6	-2	-40.0	3.2
内訳	その他		1	1		3	3		3	3	-2	-66.7	1.1
道路貨物運送業			4	4		5	5		6	6	-1	-20.0	4.3
その他の運輸業			3	3		4	4		5	5	-1	-25.0	3.2
陸上貨物取扱業											±0		
港湾運送業											±0		
林業						1	1		1	1	-1	-100.0	
漁業			1	1		2	2		3	3	-1	-50.0	1.1
商業			9	9		15	15		16	16	-6	-40.0	9.7
接客娯楽業			27	27		26	26		30	30	1	3.8	29.0
清掃業			2	2		2	2		4	4	±0		2.2
その他の事業			18	18		27	27		32	32	-9	-33.3	19.4

※本統計は、労働者死傷病報告（休業４日以上）により集計したものです。
※倶知安支署の管轄は、後志管内のうち、倶知安町、岩内町、共和町、泊村、神恵内村、ニセコ町、京極町、喜茂別町、真狩村、留寿都村、蘭越町、黒松内町、寿都町、島牧村です。

今月のコメント

1　内訳

● 製造業３件（食料品２件、窯業・土石１件）、建設業４件（土木工事業２件、建築工事業１件、木造建築業１件）、商業１件、接客娯楽業１件、その他の事業２件、合計12件

2　お知らせ

● 令和８年度「北海道冬季ゼロ災運動」（12月～３月）
　路面凍結等による転倒、自動車のスリップ等による交通事故、屋根の雪下ろし作業時の墜落や除雪作業時の重機との接触、屋内での内燃式発電機等の使用による一酸化炭素中毒等の冬季特有の労働災害を防止するため、労使で協力して冬季ゼロ災の実現を目指しましょう。

● 建設工事追い込み期労働災害防止運動（10月１日～12月31日）
　墜落・転落災害防止を最重点に、重機の接触災害や転落災害、地山や解体中の建物による崩壊・倒壊災害、交通労働災害、有機溶剤や一酸化炭素等による急性中毒、火災防止対策を重点実施事項として取り組みましょう。

● 北海道最低賃金が令和８年10月１日に1,075円から1,131円に改定されました。

令和８年における死亡労働災害発生状況

小樽労働基準監督署倶知安支署

発生年	発生月	業種	職種	事故の型	起因物	災害の状況
8	4	建築工事業	作業者	崩壊、倒壊	支保工	被災者ら２名は、芯材（H鋼）と土留め板で構成された既設の土留め壁に沿って掘削された溝の内部で、合板による土留め壁を設置する作業を行っていたところ、既設の土留め壁が崩壊し、被災者１名が土砂に生き埋めとなったもの。
8	8	土木工事業	作業者	はさまれ、巻き込まれ	コンベア	コンクリート製造用プラントにおいて、被災者は骨材を貯留するサイロの上の開口部から骨材の残量を確認していた。サイロの上にあるコンベアのトリッパー（走行台車）が被災者に衝突し、サイロ内に落下した。